

一般質問

東山 光徳 議員

新政会



県道高松坂出線四車線化に伴う交通安全対策を

Q 県は県道高松坂出線の青海町から高松市生島町までの約7km区間において、車道の四車線化と歩道の整備をする予定と聞いたが、当該区間は交通量が多く、事故も多発している。道路整備に伴い信号機の設置など交通安全対策が必要ではないか。

A 工事期間中の交通安全対策については、県中讃土木事務所が、道路計画を作成する際に交通量や利用状況に鑑み、地元関係者や警察とも協議の上、交通安全対策を検討していくと聞いています。また、供用開始後は地元からの要望をいただいた上で、県に交通安全に関する総合診断の実施をお願いし、関係機関で協議、改善策等を検討した上で、必要と判断された場合には信号機等の交通安全施設が設置されるようになります。(建設経済部長)

質問の項目
・人口減少対策について
・中心市街地の活性化について

農業の外国人技能実習生に本市の行事への参加を呼びかけてみては

Q 松山地区では、毎日早朝から外国人技能実習生が農作業に励んでいる。実習生は本市の農業振興に大きく寄与しており、これからはもっと増えてくると思われる。国際交流の観点からも本市の行事等への参加を呼びかけてみてはどうか。

A 本市の農業分野においては、平成30年11月末現在でタイ・ラオス・カンボジアの3カ国から145名の実習生を受け入れています。今後、国際交流協会や各団体が企画するイベント等を事業主等に情報提供し、参加を促すことで、農業分野の技能実習生が地域に溶け込み、地域に根付き、より身近な存在となることを期待したいと考えています。(建設経済部長)



山条 忠文 議員

新政会



負担金協定書を締結している土地の概要と今後の維持管理等は

Q 土地改良区と負担金協定書を締結している西庄の土地について、所期の目的が果たされないまま、長期にわたって放置され続けている。これまで市は多額の負担金を支出しており、維持管理を含め早急に対処すべきではないのか。

A 当該地について、当初の購入目的である排水機場用地としての整備は困難で、支払完了後には坂出市名義に変更するものとして、今後、適切な維持管理を行うとともに、公共の用に供する施設としてどのような利用方法があるのか、研究を進めていきたいと考えています。(建設経済部長)

質問の項目
・介護保険サービスについて
・認知症対策について

下水道事業について今後の展望と事業の見直しの考えは

Q 当初の事業計画と事業進捗には大きな離が生じており、他方では収入に比べ市民の税金でもある一般会計からの繰出金が大きく上回っている現状等からも、早急に下水道区域の見直しや事業の縮小、変更が必要ではないか。

A 平成28年3月に香川県において策定された第4次香川県全域域生活排水処理構想のなかでは、生活排水処理施設の早期整備について、公共下水道、合併浄化槽など、それぞれの処理施設が有する特性を踏まえ、合理的、効率的に進めることとしています。これを踏まえ、本市においては事業縮小を視野に入れ、全体計画の見直しを進めているところであり、社会情勢の変化に即し、適切に対応していきます。(建設経済部長)

